

# なとり市議会だより

2019.11.1 No.168 令和元年9月定例会の内容をわかりやすくお伝えします。

議会懇談会を開催  
(16ページ)



## CONTENTS

- 議員が聞いたこんなこと…………… P2
- 閑上にグラウンドとコミュニティー広場が整備されます…………… P9
- 税金の使い道をチェックしました…………… P10
- N-WATCH(エヌ・ウォッチ)…………… P16

「愛島っ子応援隊」では、毎週金曜日に愛島小学校で読み読みのボランティアをしています

# 議員が聞いた

## こんなこと

# 一般質問

### 一般質問とは

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。

9月定例会では、12人の議員から24項目の質問がありました。

一般質問を含めた本会議の内容は、録画でも配信しています。市ホームページの「議会中継」からご覧ください。



教育

教育費などの家計への負担軽減を図るべき



齋 浩美

**Q** ことし4月より、校納金の口座振替手数料が上がった。保護者の反応をどのように捉えているのか。

**A** 給食費等の口座振替手数料を、消費税を含む108円とすることは、取扱銀行から教育委員会にも連絡をいただいている。引き上げについては、市校長会役員と取扱銀行が協議を重ね、銀行の担当者が学校へ説明に向き、協力を依頼したと聞いている。

**Q** 給食費の単価増と、口座振替手数料の増額による、教育費の家計への負担は大きいと捉える。特徴ある子育て支援として、財政調整基金を活用して、振替手数料の負担軽減を図るべき。

**A** 4月から市内全ての小中学校で、学校給食の充実のため、やむを得ず給食費を増額している。加えて、給食費を含む、校納金の振替手数料が増額になったことで、保護者の負担がふえたことは事実と考えている。

特徴ある子育て支援として、手数料の負担軽減を図るべきとの提案であるが、財源についても考慮しながら、段階的な学校給食費の無償化による、経済的負担の軽減のほうを優先して進めていきたいと考えている。

### 質問した内容

- 1 公共交通の不満と改善
- 2 訪問入浴サービス事業の利  
用回数
- 3 校納金の振替手数料の負担



生涯学習

## 地域に根差した公民館長の選任・採用方法の検討を



大沼 宗彦

**Q** 市長の公約の一つである「公民館の機能充実と生涯学習の推進」について、どのように取り組んだのか。

**A** 総合教育会議などの機会を捉えて、教育委員会と協議・調整を行っている。

公民館が地域コミュニティの拠点施設として、どのような視点で機能の充実を図るべきか、また、新たに取り組んでいる地域学校協働活動では、地域の人材や資源を活用しながら、子供たちの育成につなげる必要な支援策を含めて意思疎通を図っている。

**Q** 「名取市公民館の将来像」の検討結果の住民説明会を開催すべき。

**A** 市民や関係する方々から意見を聞き、平成30年3月に策定した将来像は、製本化し、ワークショップに参加した市民に配布したほか、ホームページにも公開した。また、平成31年2月に「公民館を考えるつどい

2019」を開催し、市民と公民館職員が一堂に会し、公民館について考え合う場を設けており、説明会の開催予定はない。

**Q** 地域に根差した公民館で

**A** 現在の地域推薦の公民館長は、見直しが必要となる。地域コミュニティの拠点施設として、その役割を十分に果たしていけるよう検討している。

### 質問した内容 1 会計年度任用職員制度の活用 2 社会教育の充実



教育

## 学校用エアコンの運用上のガイドラインは



長南 良彦

**Q** 小中学校15校に設置したエアコン台数と総事業費は

**A** 普通教室、図書室、職員室等の333室に380台を設置した。6月7日に完了し、総事業費は10年間で6億8800万円となる。

**Q** 運用上のガイドラインは

**A** 教育委員会において「名取市立学校空調設備運用指針」を策定した。内容としては、学校環境衛生基準により、教室の温度は17度以上28度以下が望ましく、原則28度を超えた場合に28度に設定し運転すること、空調設備の操作等は職員や担任が中心に行い、換気や扇風機、カーテン等を活用すること等である。

**Q** クリーンな室内環境の保持と教職員の給油の負担を軽減するため、冬季の暖房はエアコンを使用すべき。

**A** 各学校に6月3日付で指針を示し、共通認識のもと6月10日から運用している。

**A** 現在、室内の空気を汚さない方式のFF式石油暖房機を使用している。教職員にとって給油が一定の負担となっているのは事実だが、現時点ではエアコンは主に夏季の冷房を基本として、冬季の暖房は引き続きFF式石油暖房機を使用したい。

**Q** 一般的に電化製品の寿命は約10年と言われている。今後FF式石油暖房機が故障したときの対応は

**A** 一時的に故障で使えなくなる可能性がある。買いかえが必要となったとき、経費の問題を含め検討する。

### 質問した内容 1 小中学校の空調設備 2 交差点の歩車分離式信号機 3 地方公務員法改正に伴う新たな区長制度



食品ロス削減に取り組むべき



菅原 和子

より一層、高齢者が安心して暮らせる環境づくりを



大泉 徳子

**Q** 環境省によると本来食べられるにもかかわらず廃棄された食品ロスは、平成28年度には約643万トと推計されており、この数字は国連が食糧難に苦しむ国や機関に支援した2年分に匹敵する。この現状から食品ロス削減の課題解決のため、

本年5月「食品ロスの削減の推進に関する法律」が成立した。本市も食品ロス削減のため、事業者への働きかけや市民向けにホームページに掲載するなど普及啓発に努めるべき。

**A** 食品ロス削減を進めるためには、市民及び事業者がこの問題について関心を持つていただき、その上で行政を含めた三者が一体となって取り組んでいくことが重要と捉えている。そのため、今後は広報なとりやホームページ、ごみ分別促進アプリ等を活用し、啓発に取り組んでいきたい。

**Q** 身近でできる食品ロス削減の取り組みとして、家庭で眠っている食料品などを集め、フードバンク等へ提供するフードドライブがある。昨年仙台市で開催したところ食品ロスに対して関心が高く、初めての取り組みにもかかわらず、900品目・470詰の食品の提供があった。本市でもフードドライブに取り組むべき。

**A** 試行的に期間を定め、特定の回収場所を設けるなど、実現に向け検討したい。

**質問した内容**  
1 食品ロス削減に向けた取り組み  
2 高齢者支援



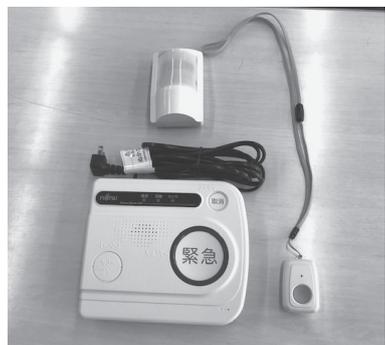
**Q** 「ひとりぐらし老人等緊急通報システム」は現在、おおむね65歳以上で病弱なひとり暮らし高齢者が対象である。条件を緩和し、持病の有無にかかわらず、ひとり暮らしに不安を持つ80歳以上の高齢者や、老老介護を余儀なくされている世帯にも拡充すべき。

**A** 対象者の拡充は、生活環境の充実につながり、高齢者の方々が住みなれた地域で末永く安心して暮らすことが出来るものと考えます。しかし、さらなる高齢化により老老介護世帯や独居高齢者の増加が見込まれることから、限られた財源の中での要件の緩和は難しい。

**Q** 通報システム利用要件に「病弱」とあるが、具体的な基準はあるのか。

**A** 持病や定期的な通院の有無である。

**Q** 個人が警備会社と契約を結ぶ見守りシステムもあるが、市が実施する見守り事



**質問した内容**  
1 働き方改革への取り組み  
2 高齢者福祉の充実

**A** 以前は協力員制度を設けていたが、協力員を確保できない設置希望者や、連絡しても協力員不在のケースがふえたため廃止した。平成20年度より、警備会社に業務を委託し、システムの運営を行っている。

保健

## 骨髄バンクのドナー支援助成を急ぐべき



大友 康信

Q

競泳の池江璃花子選手が自身の白血病を公表してから、骨髄バンクにドナー登録する人が急増している。しかし、ドナーと患者が適合する確率は極めて低く、適合したとしても実際に移植が実現するのは約半数にとどまっているのが現状である。背景には、ドナーが提供に必要な検査・入院等で仕事を休業した場合に経済的な補償がないことや、勤務先の理解が得にくいこと等が考えられる。一日も早く、一人でも多くの患者が移植を受けられるように、本市での骨髄移植のドナー支援となる助成制度の導入が待たれている。現在の検討状況を伺う。

A

助成制度導入の必要性を認識しており、制度化に向け助成額や対象となる内容など検討しているところである。

Q

県内では11の市と町が既に取り組んでいる。すぐに

Q

でも助成制度を導入して、今年度当初から助成できるようにすべきではないか。

A

要綱や実施計画など具体的な検討が必要である。次年度の予算に反映できるように、できるだけ早く進めたいと考えている。

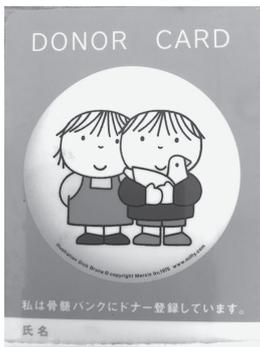
Q

特別休暇制度のない事業所や企業に奨励金を交付するなど、新たな内容を盛り込む考えは。

A

要綱の策定に当たっては他市の事例等も参考にした

1 質問した内容  
骨髄バンクのドナー助成制度



子育て

## 保育の質の低下を防ぎ、公的責任を果たすべき



小野寺 美穂

Q

幼児教育と保育の無償化について、その意義と課題をどう捉えているのか。

A

国が少子化対策として取り組むものであり、子育て世代の経済的負担を軽減し、安心して子供を産み育てる環境を整えることと、幼児教育の重要性から、未来を担う子供たちの人格形成の基礎を培うことに意義があるものと捉えている。課題として、無償化による保育需要の拡大による影響や、認可外保育施設等の保育の質の確保が想定される。

Q

現在、低所得者は保育料が低くなっているが、今回の無償化は所得制限がないため、高所得者に利する内容となっている。低所得者には消費税増税の負担がのしかかる。また、問題となっている保育士不足については、手が打たれていない。低賃金、過重労働等が解決されないまま、基準を超えて受け入れを進めるのでは、

A

保育の質の低下は免れず、しわ寄せは子供たちに来る。全国的に認可外保育施設は4割が国の基準に満たない状況である。課題解決をどう進めようとするのか。

A

保育需要の拡大による待機児童の増加や保育士不足、一定基準を満たしていない認可外保育施設の保育の質の確保などの影響については、引き続き安心安全な保育を提供すべきと認識している。県や他自治体と情報を共有し、動向を確認し、対応していきたい。

2 質問した内容  
被災者の心のケア  
幼児教育・保育の無償化



市備  
都整

より親しみやすく  
使いやすい名取駅に



吉田 良

**Q** 通勤通学の時間帯に西口バス停を利用する人はふえている。雨にぬれずバスを待てるよう、バス停と駅舎の間に雨よけを設置すべき。

**A** 今後のバス利用の促進が期待されるため、設置について検討を進める。

**Q** バスを待つ人に危険が及ばないよう、自転車走路を整備すべき。

**A** 歩道全体を改修する必要があるため、当面は自転車の誘導方策を検討する。

**Q** バス停付近の自転車走行空間における設計方法は4種類あるという。最適な設計方法を研究すべき。

**A** 課題を整理する中で研究したい。

**Q** 点字ブロックの設置進路を適正化すべき。

**A** 西口駅前広場と駐輪場前の歩道において、双方を連絡する点字ブロックが欠落していることを確認した。早急に適正な場所に点字ブロックを設置したい。

**Q** 駅前駐車場の料金体系を改定するとともに、30分以内無料であることを目立つように示すべき。

**A** 料金体系の改定は今後の検討課題とする。無料の掲示は見やすく工夫し、路上駐車をしないう周知していく。

**Q** 自動二輪車に歩道を走行させないための対策を。

**A** 緊急の対策として注意喚起の看板等を設置するが、効果がない場合は走行したまま通り抜けできない方法を検討する。

質問した内容

- 1 名取駅東西自由通路と駅前広場等の施設整備
- 2 一般家庭用除草剤の危険性



観光

交流人口拡大のため、  
合宿誘致活動等を進めるべき



山田 龍太郎

**Q** 交流人口をふやすため、県内外の団体等がクラブ・サークル・ゼミナール活動を行うための合宿拠点施設を整備すべき。

**A** 海浜エリアは、自然体験や震災学習など、体験型観光の拠点となっている。現在建設を進めているサイクルスポーツセンターは、会議室や宿泊を可能とした大広間を設置するほか、合宿や研修利用を想定した料金設定とし、合宿の拠点として活用できるように、整備を進めている。

**Q** 合宿の目的に合わせ、市内にある公共施設を活用できるように開放すべき。

**A** 施設の定める範囲で目的に合致すれば利用できる。

**Q** 合宿誘致活動を積極的に進めるべき。

**A** 合宿利用は、継続的かつ長期の滞在となることから、周辺観光施設への波及等、地域の活性化に寄与する。ホームページやパンフ

レット等により誘致に努める。

**Q** 旧名取スポーツパークやヨットハーバー等の利用で相乗効果を出すべき。

**A** 市全体の交流人口の拡大につながるよう、どのような連携が可能か検討する。

**Q** 海浜エリアの整備に合わせ、観光ルート・地場産品・食を観光に結びつけ、交流人口の拡大を図るべき。

**A** 観光ルートマップには、市内の観光資源の情報を掲載している。観光ルートの利用を促しながら、交流人口の拡大に努める。

質問した内容

- 1 交流人口の拡大

環境

## 温室効果ガス排出抑制の取り組みを強化すべき



菊地 忍

Q ここ数年地球温暖化が原因と言われる異常気象が続いている。平成11年「地球温暖化対策の推進に関する法律」が施行され、地方公共団体はみずからの事務及び事業に関し、温室効果ガスの排出の抑制等のための措置を講ずること、温室効果ガスの排出抑制等のための実行計画を策定し、実施状況を公表することが義務づけられた。これを受け「名取市温室効果ガスの排出抑制等のための実行計画」が策定されたが未達成の項目が多い。地球温暖化対策は喫緊の課題であり、取り組みを強化すべき。

Q 実行計画の目的には、「名取市自ら地球温暖化対策を実施することにより、広く市民、事業者への地球温暖化対策の具体的取組みについて誘導・喚起を図っていく」とあるが、市のホームページには地球温暖化対策について何も紹介していない。市が取り組んでいる実行計画の内容をホームページに掲載するとともに、その結果についても掲載すべき。

A 市は先導する立場でありながらPRが足りなかった。改善していきたい。

A 質問した内容  
1 地球温暖化対策  
2 再生可能エネルギー等の推進



A 平成29年度の実績では、9つの数値目標に対し7項目が未達成であった。目標達成に向け、結果を周知するとともに計画の趣旨を徹底し、より環境に配慮した事務・事業に取り組んでいきたい。

環境

## 海洋プラスチックごみ対策を積極的に取り組むべき



大久保 主計

Q 世界的な課題である「海洋プラスチックごみ」は、私たち一人一人が問題意識を持ち、身近なところから取り組むことが重要と考えられているが、どのように認識しているか。

A マイクロプラスチックは、生物への影響が懸念されるほか、長い海岸線を有する市内の環境衛生上も大きな問題と捉えている。閉上漁港を抱える本市では漁業への影響も心配され、「全国市長会水産都市協議会」において海洋ごみ対策推進を国に提言している。

Q プラスチックに大きく依存していた生活を見直し、プラスチックと賢くつき合う社会をつくり、未来に生きる世代が安心して暮らせる環境を残すことが私たちの責務である。まずは市民と行政が協働で進める河川清掃の支援のため、本市が公園整備で既に実施してい

る「アドプト・プログラム」(※)で取り組んでどうか。また、先進自治体のように、市役所内での会議ではペットボトルを出さない、イベントでは使い捨て容器は使用しないなどの、プラスチック・スマートに取り組むため、国が進める「プラスチック・スマート」フォーラムに参加して、国と連携したプラスチックごみ対策を積極的に取り組むべき。

A まずは市民や事業者への啓発活動や情報収集に取り組み、その中でフォーラムへの参加を検討したい。

A 質問した内容  
1 プラスチックごみ対策  
2 ペーパーレス化への取り組み

※アドプト・プログラムとは：市民と行政が協働で進める新しい「まち美化プログラム」のこと。

市  
備  
都  
整

今年度内に見直すとした長期  
未着手都市計画道路(案)は



佐々木 哲男

Q

都市計画道路整備の進捗と、今年度中に公表・決定するとした長期未着手都市計画道路見直し案についての経緯と方向性を伺う。

A

現在整備中の都市計画道路は、熊野堂柳生線、名取駅閑上線、仙台閑上線、県整備の植松田高線の4路線であり、交通機能や防災機能の役割を担い、都市の将来像の実現のために必要な都市施設であると捉えている。長期未着手路線は9路線であり、県のガイドラインや本市の交通特性等をもとに評価や検証を行い、全9路線を都市計画道路として存続させることを前提に見直し作業を進めている。地方道路整備の必要性、有効性を訴えながら、国及び県に要望活動を行い、事業促進に努めていく。

Q

昨年度策定の都市計画マスタープランの地域別構想との整合性を検証し、関係する地域住民に対して早期

A

に説明会等を開催すべき。地域別構想は、市内7地域のまちづくりの方針を記載しており、地域の現状や課題、住民の意見をもとに作成している。見直し業務では、道路交通量の動向や整備等を整理するとともに、上位計画や関連計画における将来交通網の方針や、道路整備に係る整備計画等を整理し検討を行っている。検討結果については、今年度、住民説明会やパブリックコメントを行い、市民との合意形成を図っていく。

質問した内容

- 1 都市計画道路
- 2 名取市公共施設等総合管理計画と老朽化施設対策



# 9月定例会 議案審議

## 名取市の

## こんなことが決まりました

9月定例会 会期 9月3日～25日

### 9月定例会の議案は 市長提出議案

報告	3件
認定	3件
条例	9件
補正予算	9件
同意	3件
議決案	6件
<b>計</b>	<b>33件</b>

提出された議案の概要は、市議会ホームページの「議案の概要と審議結果」をご覧ください。



## Pick up 1

**住民票に旧氏が記載された場合、  
旧氏での印鑑登録が可能になります**

女性活躍推進の観点から、住民票、マイナンバーカード等へ旧氏を併記できるようにするための法改正がなされたことから、住民票に旧氏の記載を希望し、その記載がされた場合は、旧氏での印鑑登録が可能になります。

こんな質疑がありました

### 改正の内容について

**Q** 条例の施行日である11月5日以前に婚姻等で氏が変わっている人でも、所定の手続により住民票に旧氏が記載されると、旧氏での印鑑登録も可能になるのか。

**A** 住民票に旧氏が記載された人については、その日から旧氏が併記された印鑑登録証明書が発行されるとともに、旧氏での印鑑登録も可能となる。

**Q** 現在の条例では、登録できる印鑑は1人につき1つとなっているが、旧氏の記載をした人は1つの氏につき1つの印鑑登録ができるようになるのか。

**A** 住民票に旧氏の記載をしても、登録できる印鑑は1人につき1つであることは変わらない。そのため、現在印鑑登録をしていて、新たに旧氏で印鑑登録を希望する場合は、現在の登録を廃止することになる。

## Pick up 2

**閑上東地区に災害復旧グラウンドとコミュニティー広場を整備  
します**

閑上東地区のスポーツエリアに、旧閑上公民館前の閑上グラウンドを移転して復旧するほか、地域の交流拠点などとして自由に利用できる多目的広場等を整備する工事をを行うものです。

こんな質疑がありました

**AQ** 利用者の施設は、あずまやとトイレを設置する。あずまや内にはベンチを4基置き、近くに水飲み場も設置する。グラウンドの西側にもベンチを4基設置する。

**Q** トイレの入り口に目隠しはあるのか。

**A** 検討したが、市街地ではないので、設置しない。

**Q** グラウンドでは公式な試合はできるのか。また、整備道具は持ち込みなのか。広さは100m四方ほど

**Q** 無料で施設だが、どのような利用方法や管理方法を想定しているのか。

**A** グラウンドの利用は、閑上公民館で予約が必要である。コミュニティー広場については、申請などは不要で自由に使用できる。

**AQ** 工事完了の時期は、令和2年3月末の完成を目指している。

### Pick up 3

なとりん号の閑上線等が  
増便されます

こんな質疑がありました

#### なとりん号について

**Q** 乗合バス等運行委託料の内容は。

**A** なとりん号の利便性向上のため、閑上線は、平日の閑上から名取駅への上り線で6時台と20時台、下り線で21時台にそれぞれ1便を増便する。また、相互台線は名取駅に向かう7時25分の便が、雨天時等で混雑した際に臨時便を運行する。

#### 愛島小学校仮設校舎借り上げについて

**QA** 事業の内容は。

**A** 児童の増加に対応するため、教室を4つ、トイレと昇降口、倉庫を建設する。児童数は、令和2年から4年がピークと捉えており、その3年間のリースとする予定である。

**Q** 校庭が狭くなるのではないか。

**A** 校庭の部分ではなく、以前、仮設校舎があった跡地に新たに設置して対応する。

## 平成30年度 決算審査

### 税金の使い道を

### チェックしました

#### 一般会計歳入総額

610億1,007万円

#### 一般会計歳出総額

524億7,554万円

市長から提出された平成30年度の決算について、財務常任委員会において審査を行いました。

財務常任委員会では、一般会計歳入を全体会で、一般会計歳出・特別会計・企業会計を3つの分科会で分担して審査を行いました。

財務常任委員会の内容は、録画でも配信しています。市ホームページの「議会中継」からご覧ください。



### 総括質疑 1

会派名 日本共産党

齋 浩美 議員

## 最終処分場と給食費無償化の進捗は

- Q** 旧名取スポーツパークを、最終処分場の候補地として、平成30年度中に学校法人に打診しているが、進捗と課題は。
- A** 学校法人より、整理しなければならない課題があるとして、最終的な判断が得られておらず、地域の方々に対して具体的な説明ができていないことである。
- Q** 給食費無償化に向けた進捗は。また、値上げしないための検討はあったのか。
- A** 先進自治体の視察を行い、段階的無償化の具体的な導入方法、時期について検討した。また、値上げは避けたいと考えていたが、食材費の高騰と、栄養量の充足率の問題を考慮し、単価を引き上げた。

## 決算審査のスケジュール

日にち	内容
9月17日(火)	本会議(総括質疑) 全体会(一般会計歳入補足説明)
18日(水)	全体会(一般会計歳入)
19日(木)	第1分科会 (総務部・消防本部ほか)
20日(金)	第2分科会 (生活経済部・建設部・震災復興部ほか)
24日(火)	第3分科会 (健康福祉部・教育部ほか)
25日(水)	全体会(分科会委員長報告・採決) 本会議(採決)

### 総括質疑 3

会派名 名和会

大友 康信 議員

## 市営住宅名取団地跡地の利活用は

- Q** 市営住宅名取団地跡地の利活用は。
- A** 住民アンケート調査を実施し、住民の意向などを参考に方針を検討した。敷地北側は公共施設用地や駐車場を含む公園広場を整備し、南側は一部店舗用地を含む住宅用地として売却する方針としたところである。
- Q** 市内の放課後等デイサービス施設数と利用状況、捉えている課題について伺う。
- A** 障がいのある就学児に生活能力の向上のために必要な訓練等の支援を行う事業所は、平成30年度末で市内に7カ所ある。市外事業所を利用する方を含めて141名が利用している。医療的ケアの必要な児童に対応できる事業所が市内にないことが課題だと捉えている。

### 総括質疑 2

会派名 創政会

長南 良彦 議員

## 「なとりん号」見直しの実績と成果は

- Q** 高齢化社会を迎え、公共交通対策事業は重要な課題の一つである。市民の足として平成20年4月に運行開始した「なとりん号」のさらなる利便性向上と満足度を得るために実施した、ダイヤ編成と運行路線リニューアルの成果を伺う。
- A** 復興とまちづくりの進捗状況、各地区人口の推移、高齢化率の分析、乗客対象のアンケート調査等を踏まえ、平成30年4月1日に見直しを行った。利用者は対前年度比で3万6717人増の43万8366人となり、運行開始時に比べ約2.5倍となった。アンケート調査の結果では、「満足・やや満足・普通」が上昇し、「不満・やや不満」が減少した。

## 第1分科会

### なとりん号の路線等見直しにより車両が5台増加しました

総務費では、バス路線の見直しにより廃止された路線とバス停、バス台数の変化などについて審査しました。また、消費生活啓発事業の内容や特殊詐欺被害防止のための取り組みについて審査しました。そのほか、市職員の障がい者雇用率と確認方法、広聴事業の実績と回答に至るまでの手続の詳細等を審査しました。



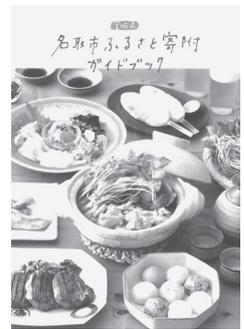
消防費では、緊急消防援助隊用の野営用簡易ベッドの台数や使用方法、女性消防隊による高齢者宅防火訪問の世帯数や指導の内容、多言語通訳コールセンターの利用状況、全国瞬時警報システムの運用事例等について審査しました。

消防費では、緊急消防援助隊用の野営用簡易ベッドの台数や使用方法、女性消防隊による高齢者宅防火訪問の世帯数や指導の内容、多言語通訳コールセンターの利用状況、全国瞬時警報システムの運用事例等について審査しました。

## 全体会

### 歳入について、幅広く確認・質疑が出されました

市税では、収納方法別による納付割合や、納税貯蓄組合の今後のあり方について質疑がありました。昨今のコンビニ納付の増加などもあり、連合会については解散の方針、地域の組合については継続するところもあることが示されました。



住宅使用料では、市営住宅と復興公営住宅での収納率の低下や滞納などの現状と対応について、多くの質疑がありました。

このほかにも、国や県からの交付金や補助金、本市のふるさと納税や寄附金など、幅広い財源について、適切に収入しているのか、さまざまな角度から審査しました。

## 第3分科会

### 新たに新図書館や閑上小中学校ができました

教育費では、確かな学力向上推進事業用パソコンの導入状況、不登校児童生徒への対応、生涯学習振興計画策定に係る市民意識調査の結果、新図書館で新たに取組んだ雑誌スポンサー制度による効果、学校給食費に係る検討状況等について審査しました。



民生費では、障がい者の地域での生活支援、ひとりぐらし老人等緊急通報システムの設置状況、保育士等の処遇改善の取り組み等について審査しました。

衛生費では、がん検診受診率向上のための取り組みや育児ヘルプサービス等について審査したほか、国民健康保険特別会計や介護保険特別会計について審査しました。

## 第2分科会

### 名取の「せり」をさまざまな方法でPRしました

商工費では、名取市特産の「せり」を紹介したパンフレット「名取せり本」の活用状況等について審査しました。



衛生費では、ごみの不法投棄の現状と防止の取り組み等について審査しました。

農林水産業費では、有害鳥獣の捕獲頭数及び被害額と助成事業の実績、「せり」のGI（地理的表示）保護制度登録への取り組み等について審査しました。

土木費では、危険ブロック塀等除却事業の実績、下増田地区防災集団移転促進事業による土地利用検討業務の取り組み等を審査しました。

水道事業会計では、老朽水道管の耐震化への取り組み等について審査しました。

# このような理由で、賛成しました

## 賛成

**吉田 良 議員**  
(一般会計・特別会計)

歳入では、新図書館を命名権の対象施設としたことについて、検討過程に慎重さと丁寧さが欠けていたのではないかと懸念がなされたため、結果として企業名がつくことはなかったが、学術施設を安易に財源確保の種にするべきではない。

総務費では、市制施行60周年記念事業の市民提案事業を評価したい。ラジオ特別番組は聴取率4.9%、イベント参加者数は約550人であり、多額の費用により得られた効果について、納得できる説明ではなかった。

消防費では、自主防災組織の年度内における新組織設立が2組織にとどまった。今後も組織率の向上に努めることを望む。

## 賛成

**小野寺 美穂 議員**  
(一般会計・特別会計)

保育所保育料等に収入未済や不納欠損がある。徴収は当然だが、担当職員の負担も考慮すべき。

災害援護資金貸付金では、332件が収入未済である。猶予期限が迫ってきており、今後、さらにふえる可能性がある。自己破産などもあることから、対象者への、丁寧な聞き取り調査を行うべき。

学校給食費を、食材の高騰等を理由に値上げしたが、無償化を公約としている中で据え置きなかったのか。剰余金の状況からも再考すべきではないか。銀行の振替手数料も大幅に上がった。子育て支援の観点から負担軽減を図るべき。

## 審議結果

### ▶ 賛否が分かれたもの

※ ○は賛成、×は反対

会議名	提出者	議案番号	件名	審議結果	議員名 (議席番号順)																	
					大泉 徳子	大久保 主計	齋 浩美	菅原 和子	吉田 良	大友 康信	佐々木 哲男	大沼 宗彦	佐藤 正博	長南 良彦	相澤 祐司	小野寺 美穂	郷内 良治	山口 實	山田 龍太郎	菊地 忍		
第4回定例会	市長	議案第63号	平成30年度名取市歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
		議案第70号	消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整理に関する条例	可決	○	○	×	○	○	×	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○

※地方自治法第116条の規定により、議長は表決に加わっておりません。

今期定例会において全会一致で可決した議案を含む、審議結果の一覧は、市議会ホームページの「議案の概要と審議結果」をごらんください。



No.1

人事案件に同意しました

今期定例会には、5カ件の人事案件が提案されました。

◎監査委員

(9月3日上程・同日原案 同意)

沼倉 雅枝氏(増田)

◎教育委員会教育長

(9月3日上程・同日原案 同意)

瀧澤 信雄氏

◎教育委員会委員

(9月3日上程・同日原案 同意)

荒井 龍弥氏

(杜せきのした)

◎人権擁護委員候補者

(9月3日上程・同日原案 可決)

板橋 勝典氏(愛島)  
井上 幸太郎氏(高館)

No.2

議会基本条例の評価及び  
検証を実施しました

名取市議会基本条例は、議会の基本理念及び議員の活動原則等を定めるとともに、市民と協働した開かれた議会となることを決意し、平成23年12月定例会において議員提案により制定したものです。

議会運営委員会では、これまでの実績と課題を整理し、さらに課題に対する今

後の方策案を検討するため、議会基本条例の評価とその検証に取り組んできました。

評価結果及び今後の取り組みべき項目をまとめた議会基本条例実施計画を、市議会ホームページに掲載しております

ので、ぜひごらんください。



No.3

議会の構成が変更になりました

令和元年8月31日付で、荒川洋平議員より辞職願が提出され、議長において辞職を許可しました。

辞職に伴い、関係委員会において、欠員に伴う選挙等が行われました。

なお、この欠員により、市議会議員は現員17人となっております。

◎議会広報特別委員会

委員長

大久保 主計

(9月11日選任)

副委員長

吉田 良

(9月11日選任)

No.4

市議会ツイッターをぜひ活用ください

名取市議会では、ツイッター(Twitter)による情報発信を行っています。

とで情報をごらんになることができます。

定例会・臨時会等の会議開催情報や、市議会からのお知らせなどを発信していますので、ぜひごらんください。

また、アカウントをお持ちの方は、フォローすること



No.5

**議員協議会（8月5日）**  
 仙台空港の運用時間延長に関する地元説明会の実施状況等について

○**仙台空港の運用時間延長に関する地元説明会の実施状況及び航空機騒音対策（案）について**

宮城県から、仙台空港の運用時間延長に関する地元説明会の実施状況及び、エアコン設置等への助成制度等の航空機騒音対策の案が示されました。

○**名取市サイクルスポーツセンターについて**

令和2年秋の開業を目指し工事を進めるサイクルスポーツセンターについて、管理運営方法や施設使用料等の案が示されました。

○**名取市議会基本条例の評価及び検証について**

議会基本条例の評価・検証（案）及び実施計画（案）について協議しました。

No.6

**議員協議会（9月2日）**

**名取市第六次長期総合計画基本構想（案）等について**

○**閑上地区復旧・復興関連事業スケジュールについて**

令和2年3月に復興達成宣言を予定している閑上地区の復旧・復興事業に関して、一部事業のスケジュールの変更について説明がありました。

○**名取市第六次長期総合計画基本構想（案）及び名取市第五次国土利用計画（案）について**

第六次長期総合計画の基本構想（案）等が示され、これからの本市のまちづくりを進めていくに当たつての基本理念、将来像を実現するための主要施策等について説明がありました。

なお、この件については、今後も複数回にわたって継続的に協議を行う予定です。

**議会を傍聴しよう**

会議はどなたでも傍聴することができます。会議の日程は、市議会ホームページでご確認いただくか、議会事務局（022-384-2109）へお問い合わせください。



**議会を読もう**

名取市議会だよりは、2月、5月、8月、11月に発行しています。バックナンバーは、ホームページでもごらんいただけます。



**議会に参加しよう**

議会に対して陳情等を提出することができます。

陳情とは、特定の事項について議会などに実情を訴え、適切な措置を要望することです。

**議会を動画で見よう**

本会議の様をインターネットで中継（生中継・録画中継）しています。ぜひご活用ください。

※スマートフォンやタブレット端末での視聴にも対応しています。



**会議録を読もう**

本会議及び財務常任委員会の会議録をインターネットで公開しています。詳細な議論の内容の確認に、ぜひご活用ください。



令和元年12月定例会は、**12月4日（水）**

開会予定です。

# N WATCH

エヌ・ウオッチ



地域コーディネーター 大野 千晴さん

今号の表紙を飾ってくれた、愛島小学校地域学校協働本部「愛島っ子応援隊」からお話を伺いました。

### 活動の目的などを教えてください

地域と学校が連携・協働し地域全体で未来を担う子供たちの成長を支え、また地域の活性化につながるような活動を目指しています。

### どのようなメンバーで本部を構成していますか

民生・児童委員や区長、公民館、ボランティア連絡会など既に地域で活躍し、協働活動に志のある方々に集まっています。

### 地域の特性を生かした取り組みは

農業が盛んな地域なので、奉仕作業には草刈り機が登場することがあります。新旧住民の協力体制が愛島らしい活動です。

## 議会懇談会を開催します

市議会では、より近くで皆様の声をお聞きするため、毎年議会懇談会を開催しています。

全議員が3班に分かれて各会場に伺いますので、ぜひ皆様の議会や市政に対する声をお聞かせください。

また、さまざまな角度からご意見を伺うため、関係団体（参加は団体関係者のみ）との懇談会もあわせて開催します。

### ○市民との懇談会（どなたでも参加できます）

開催日時	会場	テーマ
11月6日(水) 午後7時	増田公民館 閑上公民館 那智が丘公民館	①名取市の復興への進捗状況 ②名取市議会基本条例の評価と検証
11月8日(金) 午後7時	杉ヶ袋南集会所 館腰公民館 愛島台二丁目集会所	③地域の課題(意見交換)

### ○関係団体との懇談会（団体関係者のみ）

- 11月11日(月) 名取市婦人防火クラブ連絡協議会
- 11月13日(水) マザー・ウイング・子育て支援ARIママネット共同事業体
- 11月15日(金) 宮城県漁業協同組合 仙南支所(閑上)

## 編集後記

委員  
齋 浩美

今回の議会では、平成30年度の税金の使われ方(決算)を確認しました。

道路の改修や街路灯の設置のように、目に見えて残るものもあれば、研修会や各種イベントのような、目に見えづらいものもあります。

それらは、本当に本市のためになっているのか、市民の皆さんへどんな効果を

もたらしたのか、税金の使われ方として適正だったのかなど、幅広い視点からの確認をしました。

議員それぞれが、限られた時間内でどれだけ中身の濃いものにするか、非常に緊張感のある中での議会でしたので、終わって、まずはほっとしています。



名取市議会の情報はこちらから

名取市議会

検索

